

# たんぽぽ通信

Vol.21 2011年4月10日発行 たんぽぽ薬局五本木店

## 心筋梗塞と脳梗塞

日本人の死因の上位を占める心筋梗塞と脳梗塞は、血管の詰まりが原因で発症します。血管を詰まらせないために、ドロドロ血の改善が必要です。

**心筋梗塞**：心臓に酸素と栄養を送る冠動脈の動脈硬化が進み、血管が狭くなってくると血液の流れが悪くなり、心臓の筋肉に十分な栄養が届かなくなり、筋肉が壊死してしまう状態です。



\*動脈硬化とは、加齢とともに動脈の壁が固くなり、さらに血管の内側にコレステロールがたまることで、血管が狭くなり血液の流れが悪くなることです。

**脳梗塞**：脳に血液を送る血管に血栓が詰まり、流れが極端に悪くなるなどして、その先の脳細胞が壊死して意識障害を起こすものです。脳梗塞になるとたとえ命は助かっても、片麻痺や言語障害、さらに痴呆症状が出る等深刻な症状が残る恐れがあるので予防が大切です。



### 血栓予防薬

抗血小板薬	アスピリン・パナルジン・プレタール・プラビックス・ペルサンチン
抗凝固薬	ワーファリン・プラザキサ（新発売）



薬局からのお話 第21話



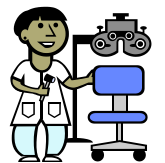
「脳ドックってどんな事を調べるのですか？」

**検査項目**：MRI（核磁気共鳴断層撮影）・MRA（脳血管撮影）・マルチスライスCT・超音波検査・脳波測定・心電図測定・血圧測定・血液検査・尿検査・眼底検査等で診療機関により若干異なります。多方面から脳の病気の兆候や危険因子を探ります。

**発見される病気**：無症候性脳梗塞・未破裂脳動脈瘤・脳腫瘍・脳出血・脳動静脈奇形・もやもや病

無症候性脳梗塞とは、多くは加齢により発症し脳血管が詰まっているのに症状が出ていないものをいいます。この状態が発見された場合にも、積極的に治療を開始し、将来の脳梗塞発症を予防する事が大切です。

40歳以上で、高血圧・糖尿病・肥満等の危険因子をもち、家族に脳卒中になった方がおられる場合には、脳ドック検査を受けられると良いでしょう。また、すでに血栓予防のお薬を服用している方は、服用上の注意を守り安全に使用して下さい。



### たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトゥエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

